

NO. 374
2018.6

CENTER NEWS



目 次

新年度スタートにあたり 専務理事 中山 義久	1
3 月定例理事会・4 月定例理事会	2
センター入所式報告	3
NEW FACE 後藤 教徳	4
広報小委員会メンバー紹介	5
こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話	7
編集後記	8

表紙説明

写真は「九頭竜ダム（くずりゅうダム）」です。昨年の6月末に業務途中で通ったので撮影したものです。こんな高いフィルダムがあったのだ、と感心しました。

九頭竜ダムは、福井県大野市、一級河川・九頭竜川水系九頭竜川に建設されたダム。かつては長野ダムといった。高さ128メートルのロックフィルダムで、洪水調節・発電を目的とする、国土交通省・電源開発（Jパワー）共同管理の多目的ダム（兼用工作物）である。ダム湖（人造湖）の名は九頭竜湖（くずりゅうこ）という。

引用：<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B9%9D%E9%A0%AD%E7%AB%9C%E3%83%80%E3%83%A0>

（荒谷 記）



新年度スタートにあたり

専務理事 中山 義久

梅雨前の涼しさを感じられる季節となり晴れやかな気持ちになります。お陰様で平成 29 年度も昨年度並みの業績を残すことが出来ました。ひとえに皆様方のご支援の賜物と役職員一同、御礼申し上げます。

平成 29 年は酉年にあたり国内外でバタバタと異常な事態も発生しました。国内に目を向けると 7 月の九州北部豪雨、9 月の台風 18 号、10 月の台風 21 号による豪雨災害が多発しました。さらに 2 月の福井豪雪も記憶に新しく、地球規模の温暖化や異常気象を実感せざるを得ません。また東南海地震も対策は怠れません。

組合員の動向につきましては、平成 29 年度は 4 社の新規加入と 1 社脱退で、45 社となっております。年度内に 4 社の加入を頂けたのは、これまでの組合活動を理解して頂いたことの表れと感謝いたします。今年度もさらなる新規加入を促進し、安定化を図りたいと考えています。

今年度は、新入職員を 2 名迎えることができました。また昨年度には人事体制を見直し、若手職員の技術向上など着々と未来へ向けた体制を準備し実践している状況です。

試験設備に置きましたは、岩石試験機の故障というトラブルに見舞われましたが、幸いジオ・ラボ・ネットワークの協力で組合員の皆様にも多大な迷惑をお掛けすること無く、ほっとした状況でした。今年度からは、老朽化している試験機器の突発的なトラブルに対応すべく、抜本的な設備・試験機器更新計画を策定し、皆様の了解を得て速やかに実現していきたいと考えております。組合員の皆様のご理解と協力をお願いします。

ヒト・モノ・カネの三要素の活用が、当センターの成長に繋がると確信し、信念を持ち進めていく所存です。

また今年度は試験事業は基より、支援サービス事業として教育・技術小委員会には土質試験実技体験会、センター施設見学会を、広報小委員会にはセンターニュース発刊、技術講演会、見学会の開催、新たな企画を含めて協力をお願いしています。

今後も試験業務・支援サービスの充実に注力し組合加入のメリットをより明確に、さらに充実することが皆様方のセンター・地質調査業界のセンターとして、さらなる成長への大きなカギとなることを肝に銘じ精進致します。

今後も皆様方との様々な交流の場を企画し、さらなる共存・共栄を目指します。積極的な御参加をよろしくお願い申し上げます。

3月**定例理事会***Regular board of directors*

平成30年4月5日（木）14時00分より、大阪キャッスルホテル会議室において、理事8名が出席して開催した。定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
3月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 2月分事業報告の件
- 3) 平成30年度 第1回小委員会開催の件
- 4) 平成29年度補正ものづくり補助金応募の件
- 5) その他の件
 - (1) 平成30年度大学非常勤講師、学会等外部委員の件
 - (2) (一財) 国土情報センターについて

【審議事項】

- 1) 平成29年度利益予想の件
- 2) 平成29年度職員期末手当・期末役員報酬支給検討の件
- 3) 平成29年度剰余金処分（案）検討の件
- 4) 平成30年度試験単価（案）について
- 5) 平成30年度（第39期）収支予算（案）策定の件
- 6) 顧問契約について
- 7) 相談役委嘱について
- 8) (株) 地圏総合コンサルタント大阪支店廃止による脱退申出の件
- 9) 環境部門の件
- 10) その他の件
 - (1) 平成30年度設備更新について
 - (2) 平成30年度職務組織図（案）について

4月**定例理事会**

平成30年4月26日（金）14時00分より、ガーデンシティクラブ大阪会議室において、理事9名が出席して開催した。定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
4月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 3月分事業報告の件
- 3) 委員会報告について
- 4) 定款一部変更について
- 5) その他の件
 - (1) 平成29年度補正ものづくり補助金応募について

【審議事項】

- 1) 平成29年度決算書（案）承認の件
- 2) 平成29年度剰余金処分（案）承認の件
- 3) 平成30年度専務理事報酬を含む役員報酬（案）承認の件
- 4) 平成30年度借入金限度額（案）承認の件
- 5) 平成30年度（第39期）事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件
- 6) 第38期通常総会議案書（案）承認の件
- 7) 第38期通常総会当日の役割分担（案）の件
- 8) 単価の件
- 9) 設備投資計画の件
- 10) 規程類の件
- 11) その他の件

新入職員 2 名を迎えました

うらかな春日和になりました、4月2日午後にセンター会議室にて、平成30年度入所式を執り行いました。顧問・職員・パート職員が勢ぞろいすると総勢38人となりました。

寺西理事長、中山専務理事の挨拶・歓迎の言葉につづき、辞令交付が行われました。

2人はそれぞれ挨拶の中で「しっかりと経験を積んで一日でも早くセンターの戦力になりたい」と抱負を述べました。将来に向けて大いに期待が膨らみます。

今年は、林 峻平君、後藤 教徳君の2名を新入職員として迎える事で、センターは20代が6名と未来へと繋がる力を蓄えることが出来ました。新入職員とともに、更なる成長に向けて一丸となって邁進してまいりますので、皆様よろしくお願い申し上げます。



寺西理事長挨拶



林 峻平



後藤 教徳



NEW FACE

地盤技術室 後藤 教徳



今年の4月から関西地盤環境センターに入所いたしました地盤技術室の後藤 教徳です。

私は昨年度まで神戸市立工業高等専門学校 都市工学科の学生でした。高専で学んだ専門科目の中で土質力学に最も興味をもっていました。そのため、5年生のときには土質力学の卒業研究室を選びました。卒業研究では、動的コーン貫入試験によって得られる N_d 値と締固め度 D_c の関係に与える粒度特性、密度特性の影響について研究していました。学んできた土質力学の知識や卒業研究で学んだことを就職先で活かしたいと思い、当センターを志望いたしました。

土質力学を学んできましたが、土質試験の方法に関してはまだまだ勉強不足で、センターで新しく学ぶことの方がたくさんあります。「百聞は一見に如かず」というように、土質力学の教科書を読んだり、土質力学の講義を聞いたりするよりも、実際に試験をしてみても様々な土を触った方が土の性質がよく理解できると感じています。これからセンターの業務を一つずつ自分のものにし、試験をこなしていけるように励んでいきたいと思っております。

学生時代はあまり友達がおらず一人ぼっちで他人と会話することが苦手でした。しかし、私の指導員の服部さん、同期の林さん、他の職員の方々がセンターのことや土質試験、業務内容等を丁寧に教えてくださり、休憩時間中に話しかけてくださるおかげで、非常に充実した社会生活を送っています。当センター以外の方々ともしっかり交流できるように、日々コミュニケーション力を磨いていきたいと思っております。

恥ずかしい話ですが、コミュニケーション力が乏しい上に、痩せすぎの体型で体力がなく土嚢を持ち運ぶことが苦手です。そこで、プライベート面ではたくさんご飯を食べてしっかり働けるよう体力づくりに日々励んでいます。学生時代はあまりお金がなく、スーパーで夕方割引されたおかずばかり食べていました。しかし、給料がいただけるようになってからは時々外食をして、おいしいものが食べられるようになったので、私の体重はこれから増えていくと思っております。これからは自分がどんな仕事をして、給料をいただいて食べているかをしっかり考え、食事の際には感謝の気持ちを忘れずに行っていきたいと思っております。

センターの正職員として採用していただいたこと、温かく迎えてくださった恩を返すべく、皆様の期待に応えられるようセンターの一員としてより一層業務に励んでいく所存です。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

委員会新メンバー紹介

広報小委員会



株式会社 関西土木技術センター
荒谷 賢一

平成 23 年の「支援サービス小委員会」から参加し、前期の「行事委員」からの継続で委員長を務めさせて頂くことになりました。

これまでは、見学会や講演会、技術者交流などの運営をしてきましたが、今年度より前期の「広報委員」との合併に伴い「センターニュース」にも携わる運びとなりました。

皆様が手に取って読んで頂ける冊子を作り、皆様が積極的に参加して頂ける見学会や講演会を企画したいと思っています。

微力ではございますが、全力で奮闘しますので、何卒よろしくお願い致します。



株式会社 インテコ
中谷 英之

この度、センター広報関連委員会に参加させて頂くことになりましたインテコの中谷と申します。前回の活性化委員会から引き続き、奈良県からの参加です。

今回は少しアクティブな広報関連活動ですが、微力ながらお手伝いできればと思います。

また、当委員会を通じての社外交流が良い機会となり、いろいろと勉強させて頂けたらと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



株式会社 メーサイ
加藤 博之

メーサイで営業をしています加藤です。前回に引き続き広報小委員に参加させて頂くことになりました。今回再編された新しいメンバーと共にセンターの広報活動の一端を担うことが出来る様に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



中央開発 株式会社
杉原 普作

この度、センター広報小委員会に参加させて頂くことになりました中央開発(株)の杉原と申します。活性化委員会に引き続きの参加となります。

やれることは進んで行動に起こし、良い意見は積極的に出してしていきたいと考えております。何かとご迷惑もお掛けしますが、よろしくお願い致します。



株式会社 エイト日本技術開発
大嶋 篤

この度、センター広報関連委員会に参加させて頂くことになりました、エイト日本技術開発の大嶋と申します。建設コンサルタント業界に入りまだ4年と、まだまだ若輩者ではありますが、委員会を通じての交流から、色々と学ばせていただければと思います。

微力ではありますが、お役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



株式会社 キンキ地質センター
山口 裕弘

この度、広報小委員会に参加させて頂く事になりましたキンキ地質センターの山口と申します。前委員会から引き続きの参加となりますが、新たな気持ちで取り組んで行こうと思っています。また、各委員会の皆様との交流で、有意義な時間を過ごせたらとも考えています。

微力かもしれませんがお役に立てればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



ハイテック 株式会社
曾根 直樹

この度、センター広報小委員会に参加することになりましたハイテックの曾根と申します。

こう見えて人見知りなので、沢山の皆様と交流を図り人脈を広げたいと思います。

このような委員会には、初めて参加させていただくので、いい機会と捉え楽しみながら微力ではありますがお役に立てるように努めます。よろしくお願い致します。



株式会社 アテック吉村
清野 達也

この度、センター広報小委員会に参加させていただきますアテック吉村の清野と申します。

地質調査業界に入って1年半ほどで勉強の毎日ですが、有益な情報提供ができるように努めてまいります。前職はみかんジュースの営業をしていましたが、小さいころから自然が好きで、電車や車から露頭が見えるとつい見入っていました。

最近は趣味のテニスや音楽に使う時間が多くなっていますが、目的地に向かう道中、所々にある街中の石材が気になって仕方ありません。

公私共に使える情報提供や、興味関心の喚起ができればと思います。よろしくお願い致します。



株式会社 日建設計シビル
長谷川 智昭

この度、センター広報小委員会に参加することになりました日建設計シビルの長谷川と申します。センターでは、事業検討小委員会→活性化委員会→広報小委員会と10年弱、参加させて頂いております。

50歳を過ぎても未だ、天命を知ることなく、未熟な日々を過ごしております。

微力ではありますが、お手伝いできればと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

こんな時代だから、 ちょっと心に残る良い話

曹洞宗徳雄山建功寺住職の栞野 俊明(ますのしゅんみょう)様が下記の文を書かれているのを目にする機会がありました。

誰もが当たり前の動作に心を込めることが出来れば、人々のふるまいや言葉遣いも丁寧になり、心が穏やかに整えられることになる。そうしたならば、昨今の何とも言い難い事件など起らないのではないかと感じるころがありました。

実際なかなか難しいですけどね。まずは挨拶からですね。

(加藤 博之 記)

【心を平穩に導く智慧、所作を整える】

「人は日常あらゆる動作をしています。それら全てが所作で、一つひとつの動作に心を込めること、誰にとっても快いふるまいであることが、『所作を整える』ということになるのです。

心を整えるためには、所作を整えることにより口から出る言葉が丁寧で穏やかになり、結果として心が整う。

例えばあいさつをするとき等、一つひとつの動作に心を込めること、それが所作を整えるということになり、それが心を穏やかに整える智慧である。」

栞野 俊明

編集後記

先日、地盤工学会関西支部の総会に出席したさい、平成 29 年度支部長で現関西大学教授の楠見晴重先生の特別講演を拝聴する機会がありました。

楠見先生で真っ先に思い浮かぶのが、卒業論文の添削です。当時は建設バブルも相まって、研究室で修士課程に進学する者を除く学部生のうち筆者だけが建設コンサルタントへ就職するとの理由で、先生公言のもと厳しい愛の鞭 (!?) を受けました。ただし、教えて頂いたことは未だに記憶に残っています。

例えば、「更に」、「又」、「～～の時」、「～～する際」、「～～及び～～」などは漢字は NG で、ひらがなが正解。また、横書きの論文は、句読点がピリオド「.」とカンマ「,」が正しいと指摘されました。さらに、当時は文章の組立（主語、述語等）も出来ておらず、何度も書き直した苦い経験が思い出されます。

あれから 27 年が経過しようとしませんが、自分の文章力があの頃からどれだけ進歩したのだろうか、と若い技術者を見ながらふと思いつけた今日この頃です。

話は変わりますが、新年度に入りこの「センターニュース」の編集スタッフも少し入れ替りがありました。これを機会に、掲載内容のマイナーチェンジや読者参加型のコーナーも思案しております。今後ともよろしく願います。

(荒谷 記)



組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50音順)

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アスコ大東	(06)6282-0310	株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06)6339-9141
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 地圏総合コンサルタント 大阪支店	(06)6223-0955
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
応用地質 株式会社 関西支社	(06)6885-6357	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
株式会社 KGS	(072)279-6770	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
株式会社 基礎建設コンサルタント 大阪営業所	(088)642-5330	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)4861-7000	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
キタイ設計 株式会社	(0748)46-2336	株式会社 日建設計シビル	(06)6229-6372
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	ハイテック 株式会社	(06)6396-7571
株式会社 神戸調査設計	(078)975-3385	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
株式会社 興陽ボーリング	(06)6932-1590	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西技術所	(06)6487-1111	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
有限会社 ジオ・ロジック	(072)429-2623	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(072)751-1659
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

【賛助会員名簿】

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653		

発行 協同組合 関西地盤環境研究センター
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
TEL 06-6827-8833 (代)
FAX 06-6829-2256
e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編集 広報小委員会
編集責任者 中山義久
印刷 千里丘印刷

<http://www.ks-dositu.or.jp>



モノレール南摂津駅より徒歩約15分 JR岸辺駅よりタクシーで約10分 阪急正雀駅より徒歩で約25分



協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3
 TEL.06-6827-8833(代表)
 FAX.06-6829-2256(地盤技術室)
<http://www.ks-dositu.or.jp>